

# 目 次

日 本 画 .....	1
書 .....	5
洋 画 .....	10
工 芸 .....	15
写 真 .....	20
デザイン .....	29
彫 刻 .....	34

# 審査員一覧

## 【県外審査員】

工 芸 石崎 泰之氏（山口県立萩美術館・浦上記念館学芸専門監）  
写 真 三輪 薫氏（写真家）  
デザイン 白木 彰氏（愛知県立芸術大学教授）

## 【県内審査員】

日 本 画 安部哲夫、安部富男、小村俊美、大森幹雄、清水誠子、中村康二、浜村厚子、東野布由美  
福間小夜子、村上ななほ、吉岡珠恵  
書 秋國錦雲、飯田 徹、加田のり子、佐々木東亜子、千家由美、角折和夫、戸津川政世  
室下景雲、吉村清雲  
洋 画 阿式康央、石橋 博、伊藤 孟、井上春雄、小野田博子、鹿島昭一、梶谷修弘、春日裕次  
勝田敏夫、勝部和子、門脇博光、金本裕行、神庭 明、杵築 伸、北本雅己、桑本京子  
古浦秀明、近藤 隆、佐田尚穂、佐藤収男、塩野 毅、篠田正美、水津保美、清水俊二  
杉谷俊一、杉原孝芳、角 洋子、武上秋津、田中敬二、鳥屋尾 敬、永尾和子、持田隆志  
森田 廣、山岡晴夫、米原 智、若林俊樹  
工 芸 青戸秀則、吾郷江美子、石飛勝久、石村 稔、黒川裕子、多々納 真、藤間 寛、野白千晴  
福郷 徹、福間琇士、正木 潤、松本三千子  
写 真 足立修吉、有澤一則、宇田川好美、川本貢功、小林茂雄、佐々木 聡、竹本晴男、浜田周作  
宮廻 功、宮廻親基、森脇寿一、本木儀和、吉崎佳慶、吉田信幸  
デザイン 石野 眞、内田京子、遠藤 毅、奥 美奈子、奥原直夫、春日謙一、狩野 順、小原恭子  
近藤 隆、寺尾 堂、寺戸良信、錦織秀行、野々内政美、平江 透、増田竹男  
彫 刻 荒木文夫、伊藤眞美、井上 博、落合 誠、佐藤信光、田中俊晞、松本健志、山岡弘廸

# 日本画

応募点数	50点	招待作品	8点
入賞点数	7点	展示点数	58点
入選点数	43点	◎は移動展出品作品	

(総評) 本年度の出品点数は昨年度より微減となりましたが、初出品された方や久々の応募などが増えました。

昨今は芸術系を趣味にする方が減り、県展の出品者も減少の傾向にあります。

特に日本画は膠や岩絵具の扱いなど基本的な知識が不可欠なため、出品にいたるまではかなりの時間を要します。それぞれ教室に通ったり、グループに所属しながら描いていらっしゃるようです。

今回知事賞を受賞された「野わけの後」を出品された佐藤さゆみさんは三回目の出品、金賞の「蒼雲蓮華」の西藤真弓さんは久々に昨年から出品されています。

全体的に作品の質は向上して見応えのある作品が多くなっています。審査は無記名投票で行っていますが、同点での決戦投票をくり返すなど作品間の差が縮まっています。

日本画絵具（岩絵具）の透明感や、質感、などの日本画のかもしれない世界を楽しんで下さい。

又、日本画に感心のある方は近くの教室やグループの扉をノックして下さい。

(文責 小村 俊美)

知事賞 ◎

## 野わけの後

佐藤 さゆみ (出雲市)

野わけ後の畔道に、可憐な小花をつけた野げしが、力強くも的確な表現で描いてあります。

暮れゆく時の微妙な空気を、もみ紙に青墨をしみ込ませ、独特の潤いある空間表現に成功し、身近に多くある雑草の生命力を、これだけダイナミックに表現される技術は、素晴らしいと思います。

今後も、何らかの感動や意図を心の中であたため、それを効果的に表現するよう、制作にはげんで下さい。

この受賞をバネにされ、一層自分の絵画表現をされますよう期待しています。

(文責 大森 幹雄)

金賞 ◎

## 蒼雲蓮華

西藤 真弓 (浜田市)

蓮は泥中に根を据え、水上に浄らかな花をさかせます。その生きざまが、古来より天上の浄土へと私達を誘ってくれる花と考えられてきました。

美しい花を咲かせるために精魂を使い果たしたと思える葉っぱを主役に、花やつぼ

み、咲き終わった姿などを脇役に巧みに配してあります。

まるで人の一生を画面に凝縮してあるように思われ、あの葉っぱは子育てを終えた母親の安ど感でしょうか。観る人に安らぎと一抹のはかなさを感じさせます。

作者の思いが蓮の姿を借りて見事に昇華された精神性の高い作品となりました。

技術的には、細部まで丹念に描き込まれ、かつ色遣いは大胆で、日本画の顔料「岩絵具」の長所を、うまく引き出しています。(文責 安部 富男)

## 銀賞 ⑧

### 暮れゆく

きた わき とよ し (出雲市)

しっとり湿った空気を感じられる夕景が描かれています。手前の生い茂った枯れた雑草から季節は晩秋だろうと思われまます。

白く描かれた川面に夕暮れの光が映り込み情感をそそります。川の形態がとても自然で作者の風景画に対する真摯な姿勢を感じる事が出来ます。

濃い緑のトーンで描かれた岸辺は、幾重にも塗り重ねられ、その色彩が画面に重量感を与え、観る者を風景画の中に引きこんでいきます。

どこか孤独感も感じられる深い情感の漂うすばらしい作品だと思います。

(文責 清水 誠子)

## 銀賞 ⑨

### 流燈

い とう けい こ (出雲市)

身近な暮らしの中から生まれた作品で、みているうちにあたたかい感動をおぼえました。群青を中心とした夕ぐれの表現が工夫され、水面やそこにかぶ燈ろうの明るさのちがいが等、細かいところまで神経がゆきとどいています。

また、画面構成も的確で、技能の高さを感じました。人物の視線が燈ろう流しの手もとにきちんと向かっていて、画面がひきしまりよい作品です。

今後のさらなる活躍を期待しています。

(文責 浜村 厚子)

## 銅賞 ⑩

### 13才の夏休み

ふく ま みちこ (出雲市)

作者は、最近では老犬を描き続け、その生き抜く生命を、力強く、表現していらっしゃいました。が、今回は、少女、朝顔、スマホと、モチーフを変えて、挑戦なさいました。

次々と咲く花・朝顔、スマホを操作する夏休み中の少女に、未来につながる確かな時間や生命を感じます。

作者の話によりますと、今回の作品では、日本画用の和紙の使い方に、新しい技法を使った、言わば、試作とお聞きしました。作品では、半透明の障子部分という事です。功を奏し、魅力的な表現となり、感心致しました。

人物デッサンは難しいのですが、少女の画面右側の肩のボリューム・腕の長さ、太さにデッサンの甘さを、少し感じますが、いかがでしょうか。

少女の夏休みのひとときの時間や空気を感じさせる作品は、作者の一連の秀作のひとつだなと思いました。(文責 村上ななほ)

銅賞 ② <sup>びょうまえ</sup> 廟前のガジュマル <sup>きよ はら しげ はる</sup> 清原茂治 (松江市)

この作品は作者の真摯な視線がモチーフにしっかり対峙され、ガジュマルの存在感と精神感が表現されています。

すぐれた描写力でガジュマルの根っこから葉の一枚一枚までも丹念に描き込まれ、自然の象徴として強い効果を上げています。

穏やかな色彩と丁寧な筆致で余すことなく描き込まれ、画面の中に強さと優しさが伝わってきます。

少し硬さがありますが、生命への深い思いが伝わってくる佳作です。

(文責 福岡小夜子)

銅賞 ③ <sup>どうじょう</sup> 道場 <sup>はら くに こ</sup> 原邦子 (出雲市)

土俵を取り囲む少年達の様子が、光の束と逆光で描かれた秀作です。

光の眩しさと少年達のフォルムの明暗が画面を引き締めています。後姿に少年達の息遣いが聞こえてくる様な力強さと初々しさが感じられ、作者の視線の温かさまでも伝わってきます。色調を抑え、色幅を極限まで狭くしての表現には難しさがありますが、その中で描ききる作者の色彩感覚と技術力を賞賛します。

欲を言えば、もう少し人物のデッサンを細密にして、具象化する部分を省略する部分のめり張りがあれば、より実在感が増してくると思います。

これからも、自分らしい世界観を大切に、温かい目差しで生活の一部を切り取り、作品として表出されますことを期待しています。(文責 吉岡 珠恵)

入選

② 一葉知秋	古森和代 (浜田市)	
② 二十歳	大石照子 (益田市)	
夢婦 - めふ -	渡麻矢 (大田市)	
朝霧	米原修司 (安来市)	
弁柄の里で	若槻年恵 (出雲市)	
邂逅	引野春雄 (出雲市)	
宵	榊原好子 (出雲市)	
休日	黒田育子 (出雲市)	
鉄線花	江戸健 (出雲市)	
魁	小川明夫 (浜田市)	鳥根日本画協会賞
夏日Ⅱ	富岡文枝 (出雲市)	鳥根日本画協会奨励賞
浜昼顔の頃	岸静子 (出雲市)	

老木に宿る	石橋陽子 (松江市)	
「希」	小林晴夫 (松江市)	島根日本画協会奨励賞
旅立ち	井上櫻子 (松江市)	
初孫	佐々木 勉 (松江市)	
冬風	山根葉子 (松江市)	
春の日	荒川 ゆかり (松江市)	島根日本画協会奨励賞
うつろひ	石倉 由美子 (松江市)	島根日本画協会奨励賞
朝靄	吉岡好昭 (松江市)	
南無の路	杉原瑩子 (松江市)	
夏の尾瀬ヶ原	吾郷 亘 (松江市)	
波のささやき	菅野 あい子 (松江市)	
春光	飯塚 眞治 (出雲市)	
ゆく春に	鹿田 純子 (松江市)	
夕映え	今岡 恵子 (出雲市)	島根日本画協会奨励賞
郷愁	松井 秀子 (大阪府)	島根日本画協会新人賞
piece	森脇 純子 (出雲市)	島根日本画協会奨励賞
② 透 -HAKU-	山口 晃永 (江津市)	
ファミリー	米原 ひろこ (出雲市)	
袖垣	田中 初子 (出雲市)	
② 無病息災	鷓飼 享一 (出雲市)	
甦	須谷 幹子 (出雲市)	
つなぐ	広田 あつ子 (安来市)	
窓	柳 楽朝子 (出雲市)	
赤いヘッドホン	内藤 博信 (松江市)	
出雲国原	内藤 章江 (松江市)	
高砂百合の咲く原	松下 純子 (出雲市)	
花	松原 安杏 (松江市)	
清陰	矢野 きよ子 (松江市)	
② 畏	角田 智竭 (松江市)	
静寂	舟木 美代子 (松江市)	
② 顔	三島 京子 (松江市)	

## 招待

光の先へ	小村 俊美 (出雲市)	
彩	大森 幹雄 (出雲市)	
② 花精	安部 富男 (松江市)	
水無月の朝	清水 誠子 (出雲市)	
初秋の朝	浜村 厚子 (出雲市)	
流水	福間 小夜子 (出雲市)	
沼地	村上 ななほ (松江市)	
② 梅雨入り	吉岡 珠恵 (松江市)	

# 書

応募点数	116点	招待作品	18点
入賞点数	7点	展示点数	134点
入選点数	109点	◎は移動展出品作品	

(総評) 古来、中国で生まれた文字文化は、長い歴史と共に大きく発展し、日本に渡来して以来、実用文字として、又、書道文化として我々の最も身近な文化の一つとなっている。今回の書道展は漢字・かなの古典分野と詩文書・一字書・前衛などいわゆる現代的表現による県下の書道愛好者の作品を一同に集め審査を行い、特に今回は若者の作品も加わり、書道界へ新たな光が指して来た思いの書展となった。作品全体からはダイナミックな個性溢れる明るい作品が多く見られ、充実感のある展覧会となった。  
(文責 室下 景雲)

知事賞 ◎ <sup>とう た く</sup>兜太の句 <sup>あき ば しよう よう</sup>穂 葉 松 遙 (安来市)

紙面を大きく使い、全体の構成もよい。きびしい中にも温かい線があり、潤渇をうまく使い、気力の充実した重厚な作品となった。  
(文責 角折 和夫)

金賞 ◎ <sup>きずな</sup>絆 <sup>た の しま たか え</sup>田野島 孝 江 (浜田市)

運筆が大胆で白を<sup>えぐ</sup>剔る黒塊が濃縮された白と下部が融合し、爽やかな躍動感が大きな世界となり美しさを増した充実感のある作品です。  
(文責 吉村 清雲)

銀賞 ◎ <sup>あい づ や いち うた</sup>会津八一の歌 <sup>しま た とも え</sup>嶋 田 友 江 (江津市)

力みの無い素朴な線が温和な明るい作品を形成している。余白を強調し潤渇の効果が奥行き<sup>の</sup>深さを表出し文意を助けている。  
(文責 秋國 錦雲)

銀賞 ◎ <sup>れい き ひ</sup>礼器碑 <sup>かわ むら きよう こ</sup>河 村 恭 子 (浜田市)

漢代の「礼器碑」の臨書。長鋒を駆使し、骨格がある凜とした線で紙面を制圧した快作である。  
(文責 室下 景雲)

銅賞 ⑧ <sup>れん</sup>蓮 <sup>い とう はつ え</sup>伊藤初枝 (出雲市)

運筆が大きく自在である。入筆後、左右に大きく動き、中程を引き締め、最後にのびやかな線でまとめた。

大胆な構成でひびきがあり、明るい快作である。 (文責 飯田 徹)

銅賞 ⑨ <sup>い と ない しん の う が ん も ん</sup>伊都内親王願文 <sup>わた なべ さち か</sup>渡部幸香 (雲南市)

「伊都内親王願文」の臨書。ゆったりとした運筆で布置よくまとめられ、気脈通貫した明るい作である。 (文責 室下 景雲)

銅賞 ⑩ <sup>さと</sup>郷 (さと) <sup>こ やま か よ</sup>古山佳代 (益田市)

大きな墨塊を中心に周りの塊が呼応し、響き合い、壮大な宇宙感を感じる作。白全体がとても冴えていて美しい。 (文責 戸津川政世)

「第1部 漢字」

仲尼夢奠帖	西本良子 (江津市)	島根書道会特選
書譜	出雲淳子 (雲南市)	島根書道会特選
⑧ 張猛龍碑	山崎扶美枝 (益田市)	島根書道会特選
山寒	木村禮子 (雲南市)	島根書道会特選
争坐位文稿	池谷清子 (浜田市)	島根書道会特選
争坐位文稿	和田好恵 (江津市)	島根書道会特選
木簡	窪田加津子 (江津市)	島根書道会秀作
争坐位文稿	小池廣伸 (雲南市)	島根書道会秀作
青苔地上	原麗子 (出雲市)	島根書道会秀作
木簡	中島富子 (益田市)	島根書道会秀作
真草千字文	渡部美江 (雲南市)	島根書道会秀作
孔羨碑	領家直弘 (益田市)	島根書道会秀作
風信帖	室下美恵 (雲南市)	島根書道会秀作
書譜	平田久雲 (大田市)	島根書道会秀作
張猛龍碑	浜村藍香 (雲南市)	島根書道会秀作
蘭亭叙	渋谷次夫 (大田市)	島根書道会秀作
望月楼高太清	景山恵月 (奥出雲町)	島根書道会秀作
奉別帖	松原秀峰 (江津市)	島根書道会入選
敦煌漢簡	石川翠 (益田市)	島根書道会入選
蘭亭叙	錦織美貴 (雲南市)	島根書道会入選
風信帖	遠藤美佐子 (大田市)	島根書道会入選
烏夜啼	竹内浩一 (出雲市)	島根書道会入選



鄭義下碑	山藤治枝 (浜田市)	島根書道会入選
喪乱帖	原由美 (松江市)	島根書道会入選
喪乱帖	尾崎豊潤 (奥出雲町)	島根書道会入選
風信帖	三木幸子 (出雲市)	島根書道会入選
温泉銘	秦野邦子 (大田市)	島根書道会入選
巧名多向	永野双龍 (松江市)	島根書道会入選
温泉銘	伊藤初枝 (出雲市)	島根書道会入選
孔羨碑	大澤捻花 (大田市)	島根書道会入選
十七帖	松本孝廣 (大田市)	島根書道会入選
風信帖	吉川玉峰 (奥出雲町)	島根書道会入選
萬福無極	景山笑月 (奥出雲町)	島根書道会入選
南風草木香	西村巴 (大田市)	島根書道会入選

「第2部 かな」

冴ゆと見えて	田原美智代 (松江市)	島根書道会特選
高野切第一種臨書	竹下幸子 (大田市)	島根書道会特選
木下利玄の歌	池尾武 (松江市)	島根書道会秀作
② 苔の水	武田サチエ (浜田市)	島根書道会秀作
秋風の	竹内幸恵 (松江市)	島根書道会秀作
としの暮	佐藤晴空 (松江市)	島根書道会秀作
木下利玄の歌	庄司里美 (松江市)	島根書道会入選
与謝野晶子歌	西川裕子 (江津市)	島根書道会入選
木下利玄の歌	山本照江 (松江市)	島根書道会入選
太田水穂の歌	廣瀬俊華 (出雲市)	島根書道会入選
紅葉	六信勝子 (大田市)	島根書道会入選

「第3部 近代詩文」

② 白秋の詩	大島真翠 (雲南市)	島根書道会特選
杉田久女の句	平井静代 (安来市)	島根書道会特選
山頭火の句	山根蒼雲 (松江市)	島根書道会特選
岡本眸の句	池田禮子 (出雲市)	島根書道会秀作
鬼貫の句	山崎星水 (松江市)	島根書道会秀作
三好達治の詩	岩田芳葉 (安来市)	島根書道会秀作
風薫る湖	福田茜丹 (松江市)	島根書道会秀作
武者小路実篤の詩	須山玲羊 (松江市)	島根書道会秀作
中村草田男の句	杉原美智江 (出雲市)	島根書道会秀作
良寛の句	山川佳芳 (安来市)	島根書道会入選
与謝野晶子のうた	長野芳秀 (松江市)	島根書道会入選
橋本鶏二の句	吉村紅萩 (安来市)	島根書道会入選
山里	藤田捷 (松江市)	島根書道会入選
漱石の句	周藤邦子 (松江市)	島根書道会入選
鬼女	田渕幸代 (松江市)	島根書道会入選
白秋の詩	石原美風 (雲南市)	島根書道会入選

花鳥	宮 廻 美佐子 (松江市)	島根書道会入選
秋櫻子の句	新 見 彩 華 (松江市)	島根書道会入選
福澤諭吉の詞	山 本 美 幸 (松江市)	島根書道会入選

「第4部 大字書」

⑧ 憧	坂 根 勝 海 (大田市)	島根書道会特選
訓	西 村 巴 (大田市)	島根書道会特選
燈	松 本 紀美子 (松江市)	島根書道会秀作
樹	森 脇 寿 子 (大田市)	島根書道会秀作
峨	梶 谷 正 紀 (松江市)	島根書道会秀作
硯	森 山 依 子 (大田市)	島根書道会秀作
学	洪 谷 次 夫 (大田市)	島根書道会入選
庭	杉 本 華 堤 (大田市)	島根書道会入選
安	松 本 廳 生 (大田市)	島根書道会入選
燃	荒 木 勝 子 (出雲市)	島根書道会入選
作	小 林 哲 山 (大田市)	島根書道会入選

「第5部 前衛」

⑧ 同	田 中 芳 佳 (益田市)	島根書道会特選
煌	畑 部 深 雪 (浜田市)	島根書道会特選
到	岡 正 敏 (浜田市)	島根書道会特選
郷	浜 野 光 美 (浜田市)	島根書道会秀作
姉	中 谷 聡 恵 (浜田市)	島根書道会秀作
踊	高 見 山 光 (江津市)	島根書道会秀作
風	石 川 千 絵 (益田市)	島根書道会秀作
理	竹 元 裕美子 (浜田市)	島根書道会秀作
南	村 上 香 (松江市)	島根書道会秀作
ありのまま	森 山 明日華 (益田市)	島根書道会秀作
SORA	和 田 好 恵 (江津市)	島根書道会入選
還	廬 原 美 鈴 (出雲市)	島根書道会入選
祥	佐 藤 祥 恵 (浜田市)	島根書道会入選
躍	西 田 洋 子 (浜田市)	島根書道会入選
義	宮 本 涉 平 (邑南町)	島根書道会入選
笑	飯 國 香保里 (出雲市)	島根書道会入選
皇	水 津 あや子 (益田市)	島根書道会入選
歎	寺 戸 真 美 (益田市)	島根書道会入選
動	松 浦 秋 安 (大田市)	島根書道会入選
繁	山 崎 扶美枝 (益田市)	島根書道会入選
慶	中 島 富 子 (益田市)	島根書道会入選

「第6部 篆刻」

⑧ 白鷺下秋水	北 村 火 雲 (松江市)	島根書道会特選
般若心經	安 達 稔 (松江市)	島根書道会秀作

悠々自適	伊藤有山 (川本町)	島根書道会入選
無心是道	山中徹人 (松江市)	島根書道会入選

「ヤング部」

② 魏霊蔵造像記	妹尾有真 (雲南市)	特選
大空の	鎌田美香子 (松江市)	特選
伊都内親王願文	杉原千晶 (雲南市)	秀作
明	山田明香 (浜田市)	秀作
魏霊蔵造像記	吉丸史菜 (浜田市)	秀作
千字文	坪川瑞樹 (松江市)	奨励
蘭亭序	竹原直子 (松江市)	奨励
蜀素帖	岡野明梨 (松江市)	奨励
九成宮醴泉銘	田村美鈴 (松江市)	奨励

招待

② 高浜虚子の句	秋國錦雲 (松江市)
② 萩	飯田徹 (大田市)
② 涯	加田のり子 (松江市)
② 万葉のうた	佐々木東亜子 (浜田市)
② 啄木のうた	千家由美 (出雲市)
② 幸綱のうた	角折和夫 (雲南市)
② 語る	戸津川政世 (浜田市)
② 孟子の詩	室下景雲 (雲南市)
② 降	吉村清雲 (益田市)
② 「琴」対琴待月	足立瑠泉 (松江市)
② 露	佐々木龍雲 (益田市)
② 心眼	山藤耕子 (江津市)
秋かぜ	長浜晴風 (出雲市)
② あをによし	野上昭子 (浜田市)
携	松原大國 (出雲市)
② じゅ	森須園 (浜田市)
② 偲	山崎銀川 (大田市)
② 遠	渡辺玄海 (松江市)

# 洋画

応募点数	92点	招待作品	53点
入賞点数	7点	展示点数	130点
入選点数	70点	◎は移動展出品作品	

(総評)

いずれの壁面からも、熱気が伝わり、観る者を楽しませてくれます。

昨年に比べ、一般出品者数は減ったものの初入選作品九点を含む、七十七点が入賞・入選となりました。総じて、どの作品も時間をかけ、じっくり取り組まれた魅力ある作品であったと思います。

特に入賞作品は、長年あたためてきたモチーフを追求した作品が選ばれた気がします。そんな中で、最高賞に輝いた、宍戸さんの「余韻」は県展初出品の作品でした。この度の県展に新風を吹き込んでもらったように感じています。今後続く出品を期待しています。

また、賞の本数が限られている関係で、受賞にはならなかったものの、十分に受賞に値する作品が多くあったことも付記しておきます。その意味も込めて、この度の移動展の作品は一般入選者の作品の中から選出することにしました。(文責 若林 俊樹)

知事賞 ◎

よ い ん  
余韻

し し  
宍戸

じ ゅ ん  
純 (出雲市)

初出品で最高賞の受賞を祝します。

県展では初めて見る描法を大胆且つ繊細な表現でほぼ満票の評価を得ました。

板に和紙張りをし、やわらかい木炭の描線を生かしながら大木の古根を表現しています。白い絵具を効果的に配しながら、空間の表現も巧みに表現された見応えのある作品です。

若い作家と推察されますが、その感性と表現力は県展に新しい息吹を吹き込むようで、将来にも大きな期待が膨らみます。

次作、次々作を早く見たいと心弾む本作との出会いでした。(文責 鳥屋尾 敬)

金賞 ◎

げ ん そ う も り  
幻想の森 I 2014

か ん ど よ し こ  
神門芳子 (松江市)

樹林の特質を生かした魅力的な作品です。自然の造形美に着目し、その要素を造形化し自らの世界を表現する方向性に安定感も感じます。画面の処現も効果的に感じます。

(文責 阿式 康央)

銀 賞 ⑧ <sup>あか</sup>赤いテトラポット <sup>ひら き ち あき</sup>平 木 千 秋 (海士町)

昨年と同じモチーフでの連続受賞である。注目すべきは、その内容の進展である。モノクロームの中に小さな色面をアクセントとして用いられた昨年の作画から一新。本作は、寒暖の色調をうまく交錯させながら、互いに色味が引き立て合って、全体の構成とともに極めてリズムカルな画面を獲得していて、前作を上回る魅力を感じる。一作ごとに作品の鮮度を見せる作者の今後を大いに期待するものである。

(文責 北本 雅己)

銀 賞 ⑧ <sup>とよ しま みちえ</sup>メロディ 豊 島 美智恵 (松江市)

作者は近年同じモチーフでの追求をされていますが、そのモチーフに対して掘り尽くせない魅力を感じられておられることと思います。その感動がこちこち良いリズムを生み出し独特のファンタジックな世界を作り上げておられます。モチーフの構成にもひとつひとつのモチーフの表現にも、これからのますますの精進を期待しています。

(文責 杉谷 俊一)

銅 賞 ⑧ <sup>しげ おか なる み</sup>CELL 2 重 岡 成 美 (出雲市)

白黒の版画というだけでも力強いものがありますが、どちらも良くて数少ない二点入選と決まり投票と挙手によりCELL 2が銅賞に決定しました。

こちらの方が画面に躍動感があり動勢も強く感じます。大中小々の物体構成も良く、不思議な空間感も出ています。

(文責 金本 裕行)

銅 賞 ⑧ <sup>ふ たり</sup>二人 <sup>いけ じり みやこ</sup>池 尻 都 (松江市)

二人の女性像が説明的でなく、陰影に拘らずまとめられている画面構成のしっかりした魅力的な作品である。手前に立膝をした人を置き、後方に座る人とが背景の空間と絡み合い、色彩豊かに心象が表現されている。

(文責 杉原 孝芳)

銅 賞 ⑧ <sup>こう ば</sup>アシダチの工場 I <sup>かま だ かず と</sup>鎌 田 和 人 (出雲市)

自分なりの造形感覚で仕上げた個性的な作品である。色彩をおさえることによって、作者の意図がより明確に表わされている。特に、上部の処理に、心地よさを感じます。

(文責 桑本 京子)

## 入 選

	栈橋	石 川 修 夫 (出雲市)
	クスコの子供	小笠原 稔 (松江市)
	鷺鷥の岩	山 本 敏 夫 (松江市)
⑧	芽生	戸 谷 遥 (松江市)
	旅の途中	古 田 美沙子 (雲南市)
	La-fu	白 根 健 (出雲市)
	祈り	津 森 敏 (松江市)
⑧	YOU DID IT TO ME	金 谷 実 (益田市)
	ZOU I	森 木 克 則 (松江市)
⑧	ポジターノの坂道	福 原 幸 恵 (益田市)
	秋の海	渡 邊 聖 春 (大田市)
	昭和20年夏の日	田 中 武 男 (出雲市)
	越南信仰の祠	藤 井 俊 矣 (松江市)
⑧	仏手	菅 野 達 朗 (松江市)
	陽光・春	八 尾 洋 一 (鳥取県)
	スイングⅡ	山 本 静 代 (安来市)
	夏の山里	古 浦 登美子 (安来市)
	アメリカハナミズキ	伊 藤 若 美 (出雲市)
	記憶の中で・・・御嶽山	水 野 博 司 (松江市)
	いか焼き	原 良 栄 (安来市)
	積木	沙魚川 陽 子 (隠岐の島町)
	美保関	佐 藤 健 (松江市)
	病室の窓辺－病に伏す母を見舞う姉妹	足 立 耕 (安来市)
⑧	早春の川	古 曳 小夜子 (安来市)
	ばらの季	赤 木 和 子 (安来市)
	深まりゆく秋	小 畑 敬 子 (雲南市)
⑧	ゆうちゃん	畑 志 壽子 (益田市)
⑧	夏の日	福 原 典 子 (益田市)
⑧	ボナッテの廃屋	大 石 正 雄 (益田市)
	読書感想文	上 野 美 季 (松江市)
	「ベニスを旅して・・・」	中 田 浩 美 (大田市)
	喜寿の花	龍 澤 光 恵 (大田市)
⑧	鍛冶屋	五十嵐 尚 輔 (江津市)
⑧	のびやかに	窪 田 加津子 (江津市)
⑧	柘榴	宇津巻 由美子 (浜田市)
⑧	小鳥のいる室内	田 中 睦 次 (江津市)
⑧	華	沖 原 厚 子 (浜田市)
⑧	夏の朝	砂 田 津多江 (邑南町)
⑧	ガク紫陽花	中 島 夏 子 (江津市)
⑧	一番萩	原 田 清 栄 (江津市)
	荘厳	非 々 玲 子 (川本町)

②	庭の一隅	大道 愛由美 (浜田市)
②	庭の片隅 はまゆう	能 美 睦 (江津市)
	緑の時	陶 山 本 子 (雲南市)
	放牧牛	松 本 行 雄 (松江市)
	懐古	三 代 典 子 (出雲市)
	万象の秋	瀬 島 純 樹 (出雲市)
	CELL 1	重 岡 成 美 (出雲市)
	木の光を感じて	周 藤 千 亜 子 (雲南市)
	モロッコの鍛冶屋	岡 田 敏 幸 (出雲市)
②	ドック (Ⅱ)	吉 岡 太 佑 (松江市)
	幻想の森Ⅱ 2014	神 門 芳 子 (松江市)
②	自然観察-Ⅱ	二 岡 み え こ (安来市)
	祖谷溪谷	間 庭 喜 美 江 (松江市)
	ストレリチア	講 武 比 富 美 (松江市)
	ヴェネツィア追想	小 中 寛 (出雲市)
	妖彩	小 山 美 代 子 (松江市)
	マヌカンの部屋	吉 岡 眞 恵 (松江市)
	窓	來 海 豊 (松江市)
②	土偶と土面	宅 和 令 子 (松江市)
②	窓辺	田 中 昭 久 (出雲市)
	ブイの詩	大 塚 昌 雄 (出雲市)
	鹿のいる愛宕山公園	金 森 登 (出雲市)
	鏡の前で	佐 藤 さ な え (出雲市)
	猫車	柿 田 周 直 (大田市)
	狂談中	賀 戸 亜 子 (大田市)
	狛犬Ⅱ	曾 田 稔 (松江市)
	夕暮れの山里	門 脇 豊 (松江市)
	はな	門 脇 計 子 (松江市)
②	海辺でスケッチ	西 丸 貴 (益田市)

## 招 待

人形の室	阿 式 康 央 (松江市)
日御碕早春	石 橋 博 (出雲市)
無花果	伊 藤 孟 (出雲市)
ひまわり	乾 克 子 (浜田市)
よみがえる	井 上 春 雄 (松江市)
メッセージ (願い)	岩 崎 久 美 子 (安来市)
追憶	岩 田 明 美 (松江市)
或る日の対話	岩 田 賀 代 子 (安来市)
蟹とトロ箱	岩 田 義 男 (松江市)
蟹	宇 家 節 子 (出雲市)

たわむれ	荏 田 和 子 (松江市)
Noah (仲間達)	鹿 島 昭 一 (松江市)
小伊津	梶 谷 修 弘 (出雲市)
IRON HORSE	春 日 裕 次 (出雲市)
遙かなる処へ	勝 田 敏 夫 (松江市)
景 I	勝 部 和 子 (大田市)
いか干し	門 脇 博 光 (松江市)
赤い布	金 本 裕 行 (益田市)
清水寺雪景	川 井 一 玄 (安来市)
進化論・化石	川 上 浩 平 (出雲市)
抱擁	神 庭 明 (安来市)
港	杵 築 伸 (出雲市)
運河の街	北 本 雅 己 (出雲市)
浮遊するピエロ	熊 谷 侑 子 (松江市)
月	藏 敷 真 弓 (出雲市)
光を求める	栗 原 清 司 (松江市)
潮騒の記憶	桑 本 京 子 (出雲市)
日御碕海岸	古 浦 秀 明 (松江市)
忘れられた風景	近 藤 隆 (安来市)
木彫り	近 藤 隆 夫 (浜田市)
昭和の鏡	佐 田 尚 穂 (益田市)
神楽	佐 藤 收 男 (出雲市)
神楽	塩 野 毅 (雲南市)
人々の風景	篠 田 正 美 (益田市)
女たち	清 水 俊 二 (松江市)
島根半島 大芦	水 津 保 美 (津和野町)
ワタシトワタシタチ	杉 谷 俊 一 (松江市)
河畔の村	杉 原 孝 芳 (出雲市)
トレド風景	角 洋 子 (出雲市)
蜃楼	武 上 秋 津 (安来市)
ひといき	忠 井 豊 (雲南市)
すどれっち	田 中 敬 二 (大田市)
石見の砂丘	田 平 耕 一 (大田市)
遺跡の番人	鳥屋尾 敬 (出雲市)
清風	中 川 勝 湖 (出雲市)
ガラスのハーモニー	永 尾 和 子 (浜田市)
初夏	野 竹 瑞 子 (出雲市)
砦	持 田 隆 志 (出雲市)
IZUMOー未生	森 田 廣 (安来市)
風のかたち 14-2	山 岡 晴 夫 (出雲市)
野菜たち	山 本 和 子 (大田市)
潮彩	米 原 智 (松江市)
魚	若 林 俊 樹 (松江市)



# 工芸

応募点数	76点	招待作品	18点
入賞点数	7点	展示点数	90点
入選点数	65点	◎は移動展出品作品	

(総評)

工芸的造形とは、素材の物質性を技術力でもって可視的な表現領域へと昇華させるという創造行為です。そのためには、作り手自らがまず素材と親しく交感を重ね、その物質性をよく知ることが大切です。この物質性を熟知するという行為のなかで、素材のもつ表現的可能性という潜勢力（ポテンシャルティ）が高められていくわけですが、これを自己の創作衝動と合一させる過程において、そのために必要な技術の開発や転換が促されていくのです。

このたび、初めて第47回鳥根県総合美術展工芸部門の審査をさせていただいて驚いたのは、応募作品に技術的な破綻を来したものがほとんどなかったことです。このことは作品の完成度が高いということと同じことではなのですが、前に述べた工芸的造形の表現活動の本質を理解したうえで、作り手の皆さんが自らの意志をかたちに成そうとしていることの証左だと思われまます。

一方で、入選作品の居並ぶ空間にしばらくたたずんでいると次のような印象が持ち上がってきました。どことなくおとなしく控えめな感覚つまり静的な雰囲気のうちに流れられていく気分です。

工芸的造形も、丁寧な仕事にばかり意を砕いては、鑑賞者の感動を喚起するような表現力は発揮できません。技術の練度を向上させることは当たり前のことですが、それ以前に表現する意図の明確化を図る自己の内面での作業をより丁寧にすべきだろう。もちろんこれは、素材の物質性をより深く理解することにもつながります。そして、一つのかたちに自己の内面に潜む、いくつもの意志や情感を同時に反映させることの困難を真摯に受けとめるべきでしょう。繰り返しになりますが、工芸的造形は素材と技術に寄り添う造形思考に依拠する表現行為です。自己の表現意図に相応しい素材や技術かどうか、吟味し直してみることもたびたびあるべきことでしょう。

(文責 石崎 泰之／山口県立萩美術館・浦上記念館学芸専門監)

知事賞 ◎

じんたいすぎぞうがなんもくさいはこ  
神代杉象嵌木彩箱

ふか だ  
深 田

まなぶ  
学 (雲南市)

浮造で顕かにされた神代杉の柾目がなによりも美しい。その甲盛の蓋頂部から四隅へ下るにしたがってしだいに表れる精緻な稜線は、身部側面に象嵌で表現された幾何学的模様のシャープな印象とあいまって、作り手の冴えた現代的感性を想わせます。また内面に施した律動感ある寄木の構成が、本作品の美質をさらに魅力的なものへと高めています。

(文責 石崎 泰之)

金 賞 ⑧

紙粘土布貼「森の精」

まつもと わかこ (松江市)

訪れたハワイでの巨大樹と邂逅が作品づくりの直接的動機だそうです。その泰然とした生命力へ向けられた憧憬の情や畏敬の念が、紙粘土という素材をとおして一躯の澁刺とした女性像に結実したのでしょう。たおやかな肢体の柔らかさや伸びやかな動きが、萌黄色のコスチュームの緩やかな襷やリボンでみごとに補強されています。

(文責 石崎 泰之)

銀 賞 ⑧

濃縹花器

うちだ かず ひで (松江市)

逆三角形で、広口の伸びやかな造形は、小さな底部とのバランスによって生み出される。光沢のないマッドな黒い釉（作者は濃縹とする）が量感を与え、表と裏の両面を飾る二本の文様が動きを感じさせる。

また、口造りにも工夫の跡が見え、魅力あるものに器にしている。

(文責 藤間 寛)

銀 賞 ⑧

木綿手紡絵緋絵羽「浜辺に咲く」

きのした えりか (出雲市)

緯糸に手紡糸を使い、着心地のよい絵羽着物である。

藍染緋で浜辺の心地よい風に乗る鳥と、愛らしい浜昼顔が、爽やかな初夏の風景を思いだされます。

藍染の紺と白い緋が、清楚な艶気を感じられる作品になっています。

(文責 青戸 秀則)

銅 賞 ⑧

しのぎ手貫入紋大壺

やまだ まさ ひこ (松江市)

「しのぎ手」(同じ幅で上から下へ何本も線状にけずる技法)の技法の大壺で、本焼の折りの貫入(本焼の時に壺の釉の表面に細かなヒビが自然に入る)の入ったところに紅色の釉をにじませ再び800度位の温度で焼き、貫入に焼きつけてあります。

しのぎ手も少し幅広く螺旋状にけずってあり紅色貫入との違和感もなく非常に全体に力強く、どっしりと安定した型で、今回の優品の作です。(文責 石飛 勝久)

銅 賞 ⑧

黄瀬戸釉幾何紋大皿

ふくま 基 (松江市)

口径52cmの平大皿。作者の永年の独特な黄瀬戸釉である。昨年に続き入賞で、ゆったりと大らかな作であり、フリーハンドでの曲線に、指によるリズム感の銅の点。新鮮な、すっきりした作である。

(文責 福郷 徹)

## 銅賞 ⑧

なんばんやきしめかき  
**南蛮焼締花器**
ぐんじたかひで  
 郡司位秀 (松江市)

南蛮焼締花器は、やきもの本来の素地と炎に生みだす陶器の力を感じます。作者が求めているものは、作為的なものではなく、陶器素材の本来の中から、素直な形を生み出してくれたものだと思います。この素直な花器に野花を挿してみたいものです。

(文責 多々納 真)

## 入選

灰釉大皿	江村一雨 (松江市)	
黒茶盃	江村一雨 (松江市)	
けやき飾箱	井上雅洋 (出雲市)	
けやき墨壺	井上雅洋 (出雲市)	
杉盆	南波隆之 (松江市)	
榎造盛鉢	朝津賢一 (出雲市)	
森は弾む	阿部兼良 (出雲市)	
茶托 (松)	町田幸雄 (出雲市)	
茶托 (黒柿)	町田幸雄 (出雲市)	
木綿藍染絞り「やがて来る夏モンゴル」	三宅和美 (広島市)	鳥根工芸連盟賞
ブドウ絵花瓶	陶山詠司 (雲南市)	鳥根工芸連盟賞
榎造盛皿	川西建次 (奥出雲町)	
飛びカンナ皿	高宮輝好 (松江市)	
花入	鶴原智央 (出雲市)	
花器	岡田未鈴 (出雲市)	
花器	勝部早紀子 (出雲市)	
花器	馬庭美紗 (出雲市)	
花器	土江香奈 (出雲市)	
紙粘土彩色「頑固」	本常信代 (松江市)	
黒面取茶碗	森脇凱人 (松江市)	
水指火襷	森脇凱人 (松江市)	
紙粘土彩色「遠い思い出」	小村真知子 (出雲市)	鳥根工芸連盟新人賞
青銅四方皿	田中文哉 (松江市)	鳥根工芸連盟新人賞
綿麻草木染織物	松本航平 (松江市)	
紙粘土彩色「晴れ舞台」	田中寿喜子 (出雲市)	
木綿半巾帯地	高橋和也 (松江市)	
紙塑和紙貼彩色「晴れの日」	上野幸美 (出雲市)	
掛分皿	谷口博教 (松江市)	
黒釉壺	古田廣司 (出雲市)	
油滴四方大皿	古田廣司 (出雲市)	
織部組向付	常松年夫 (出雲市)	
梘模様皿	西村仁伸 (松江市)	
肩衝茶入	須藤國風 (松江市)	

土瓶	山根誠志 (松江市)	
黒緋襷花入	小原敬貴 (松江市)	
重文「鮭」を彫る	平埜茂彰 (松江市)	
我が家の食卓!?(鯛)	梶岡修 (安来市)	
ごきげんよう、花子と一緒に出雲路へ	梶岡修 (安来市)	
黄澄釉網目鉢	勝部進 (安来市)	
花器	河津研一 (松江市)	
黄瀬戸釉輪花紋牡丹組皿	福間基 (松江市)	
角花入	永江妙子 (松江市)	
躍進	高橋成和 (松江市)	島根工芸連盟賞
型染「炎の花」	神田立 (松江市)	
焼締花壺	富田幸雄 (松江市)	
来待白石釉抹茶茶碗	秦弘明 (松江市)	
赤楽茶碗	木島健三 (松江市)	
出雲国のシーサー	松下純子 (出雲市)	
錆絵染付鍛冶文皿	板倉清之 (出雲市)	
緑鉢	江戸端實 (大田市)	
② 黄瀬戸鉢	江戸端實 (大田市)	
② 土の証	中尾厚子 (津和野町)	島根工芸連盟賞
ものやおもふ	藤井敏子 (富山市)	
伊羅保釉四辺皿	漆谷保子 (津和野町)	
② 伊羅保釉両手皿	漆谷保子 (津和野町)	
蜂	石田富士 (江津市)	
② 無垢寄木盆	渡辺登風 (邑南町)	
② 満開の春	佐々本順左衛門 (江津市)	
② 彩釉壺	稲倉寛 (吉賀町)	
② 灰釉掛け分け丸皿	螺山勝實 (浜田市)	島根工芸連盟賞
筒描文土瓶セット	山崎三仁 (大田市)	
② 焼締茶器	山崎三仁 (大田市)	
② 鉢	中島一夫 (大田市)	
② 肥松盆	福間克幸 (大田市)	
② 花器	小村家康 (浜田市)	

## 招待

出雲焼 竹の絵菓子器	長岡空権 (松江市)	
② 炆器 鼓動	三原研 (松江市)	
木照「六連花」	藤原正 (出雲市)	
② 灰釉鈎窯花瓶	荒尾浩之 (大田市)	
沈泥彩花器	犬山卓也 (出雲市)	
銀緑菓子器	石村稔 (松江市)	

⑨	杉造拭漆盛器	濱 田 幸 介 (松江市)
	藕糸着尺	青 戸 柚美江 (安来市)
	鉄釉緑文大鉢	柳 楽 勝 重 (出雲市)
⑩	広瀬緋着物「紫陽花」	永 田 佳 子 (安来市)
⑩	壺「彩蕾」	福 郷 徹 (益田市)
⑩	型絵染着物	黒 川 裕 子 (江津市)
	呉須釉蓋壺	石 飛 勝 久 (雲南市)
	紙塑和紙貼り「おぼろ月」	吾 郷 江美子 (出雲市)
	櫛玉空盛器「悠～はるか～」	野 白 千 晴 (安来市)
⑩	蓮弁水指	渡 部 良 和 (雲南市)
	なまこ釉鉢	多々納 真 (出雲市)
	スリップウェア一角皿五客	福 間 琇 士 (松江市)

# 写真

応募点数	209点	招待作品	48点
入賞点数	7点	展示点数	242点
入選点数	187点	◎は移動展出品作品	

(総評) 私にとっては初めての県展審査でしたが、作者の多様な表現による作品を楽しく拝見させていただきました。

午前中に私を含めて15人により第一次審査をし、午後私一人で入賞作品を決めさせていただきました。審査基準は、まず作者の狙いなどがいかに表現されているか。フレーミング、光の読み方、シャッターチャンスの捉え方などの撮影テクニックも大切です。入賞作品は当然ながら観る側の心を打ち、心の奥底まで響いてくる描写です。長く余韻が残る作品が多かったのは嬉しいことです。

気になったのは、トリミングされた作品が多く、何故パネルの寸法に画面を合わせなければならなかったのか、気になりました。安易なトリミングによって、撮ったときの感動や、印象が薄れてしまった作品が多くあったように思います。

これからも人生の楽しみのひとつとして写真に関わっていただくことを期待しています。(文責 三輪 薫/写真家)

## 知事賞 ◎

### に が つ ゆ き 二月の雪

しも かわ たか なお  
下川隆直 (松江市)

この度の島根県展写真部門知事賞は、久方ぶりに古来からの日本美を見事に表現し、独特の静けさと日本の侘び寂びが表現されており、心を打つ秀作です。

とにかく単純な構図の作品は、奥行きを感じづらいものですが、その点も見事に克服されている力作であると感心いたしました。

知事賞受賞おめでとうございます。

今後ますますのご活躍を期待します。(文責 有澤 一則)

## 金賞 ◎

### まつり び 祭り

お ざき み ち  
尾崎美智 (浜田市)

石見海岸は山陰でも最高によい海岸線があると言われています。

作者は、そのような情景を描いての撮影だと思います。

この作品の良さは、高飛びする獅子舞をいかにも躍動的に捉えて成功しました。

砂の色彩と青空が、画面を二等分にしています。加えて踊り手さんの舞が力強く撮られています。

カメラアングルが低い位置で撮られているために遠近感と、水平線上に撮られたことが、素晴らしいと思います。

この県展でも、モノクロの時代は、この獅子舞を題材とした作品は多く見られましたが、今回は久しぶりにカラーで良い作品を見ました。プリントの仕上げも良く特に

中間色の発色が良かったと思います。

これからの作家活動が楽しみな作者です。

金賞入賞おめでとうございます。

(文責 川本 貢功)

## 銀 賞 ⑧

### 夏の日の記憶

にし がみ かず よし 義 (松江市)

夏の日の夕暮れ時に、宍道湖畔で撮られた作品でしょうか。

家族や木と葉が、バランスの良いシルエットとなり、家族の愛情と物語性を感じさせるすばらしい秀作となっています。

写真は、作者が感じたものをしっかりと伝えるためにも、引き算が大切だと言われます。この作品は、見事な空間と人物配置により、家族の語りも感じさせてくれています。また、シャッターチャンスもすばらしいと思います。

作者のこれからのより一層の活躍を期待しています。

今までの県展では、表現されなかった逆光による撮影は、撮影技術も大変ですが、中央ではこのような作品を背景ロマンとも言います。この作品は物語が多くあるような、情景描写が優れており、久々に鑑賞力のある作品となりました。

入賞おめでとうございます。

(文責 佐々木 聡)

## 銀 賞 ⑨

### 結い

てら さわ ふみ 恵 (益田市)

事前からかなり計算された組写真です。

一枚一枚の写真を見ても作者の想いが十分伝わるところであり、特にそれぞれの写真が色彩、表現方法ともに優れています。最近、組写真の応募が増えつつありますが、この作品は「組」というものをよく理解した上で、最初に風呂敷の結び目、次に金封の結び目、終わりに、きりりと締めた男帯で結んでいます。

組写真を十分理解した作者の秀作と思います。作者の日々の努力が報われた作品です。

銀賞の受賞おめでとうございます。

(文責 足立 修吉)

## 銅 賞 ⑩

### 深山

わた なべ まつ お 雄 (鳥取県)

受賞おめでとうございます。

今回の県展応募作品で風景写真が少なかった中、この作品には完成された美しさ感じました。

縦構図により奥行きが表現され、Sの字の水の流れが程良いスローシャッターと共に動感が表現されています。

又右岸の苔むした岩と黄色がポイントとなり、静かな秋を感じさせます。

風景写真は写す刻が重要ですが、作者の被写体を見つめ見極める目の確かさを感じました。

(文責 森脇 寿一)

銅賞 ⑧

メルヘン<sup>なんぼーつー</sup>NO.2

平塚健蔵<sup>ひらつかけんぞう</sup> (松江市)

組写真は一点一点が良い写真でバランスが取れていないといけませんが、この方は組写真とはなにかとすることを良く理解した上で撮影されている。

自分のイメージを物の姿にかえて、心象写真を撮影しておられ、その発想を映像に変えて表現されたテクニックは誠にすばらしい。

イメージ豊かな写真で、今後益々良い写真が期待されます。(文責 宮廻 親基)

銅賞 ⑧

燃える<sup>も</sup>斐<sup>ひ</sup>の川<sup>かわ</sup>

田中作夫<sup>たなかさくお</sup> (出雲市)

コンテストで、良く目にするジャンルの写真ですが、思わず息をのむインパクトのある作品です。「斐の川」のキャプションは、「火の川」をイメージされたものでしょう。

この情景をファインダーに捉えた作者は、感動の中で、キャプションが直ちに閃いたことでしょう。

とても、ドラマチックです。朝焼けの彩かな赤、光芒も素晴らしく、空と川のバランスも良く、感情の高まりをも誘います。

フレーミング、露出も文句無しの適切な技術であり、川をパターンの的に表現出来たことで、完璧なできばえの作品になりました。

ご入賞おめでとうございます。(文責 小林 茂雄)

入選

小さな大自然	松浦福男 (松江市)	
パフォーマンス	正木哲雄 (松江市)	
我が子背おって愛でる花	中本喜代数 (松江市)	
秋ゆく空	秦憲良 (松江市)	
春暁	阿郷昌彦 (奥出雲町)	
僧伽	長瀬祐 (松江市)	
ファンタジー	金田範由 (松江市)	特選
初化粧	佐々木智範 (松江市)	
熱演	高橋美和子 (松江市)	
秋模様	鶴島里子 (松江市)	
遊び	今岡幸夫 (松江市)	
私の勝ち	半田恵美子 (隠岐の島町)	
オレを殺せるか	桑原勇 (奥出雲町)	
島の神事	岡田文夫 (隠岐の島町)	
荘厳	大野洋文 (松江市)	
50年の絆	田中郁子 (隠岐の島町)	
蒼天	山根章道 (松江市)	



	金言寺	中 島 修 (松江市)	
	兄妹の田植え	小 池 誠 (奥出雲町)	
	登頂	飯 濱 和 明 (松江市)	
⑩	さずな	高 橋 義 男 (大田市)	特選
	溪谷	長 島 栄 (松江市)	
	写生日和	野 島 幹 郎 (松江市)	
	春陽	迫 光 徳 (松江市)	
	帰港	木 下 時 雄 (隠岐の島町)	
	巫女	太 田 勤 (松江市)	
	隠岐だんじり舞い	高 梨 文 博 (隠岐の島町)	
	生まれ	奥 村 茂 (隠岐の島町)	特選
	珍鳥飛来	上 野 卯之松 (隠岐の島町)	
	宇野だんじり舞	若 葉 信 幸 (隠岐の島町)	
	いのち	井 上 恵美子 (隠岐の島町)	
	老松と老人	高 橋 洋 雄 (隠岐の島町)	
	絆	山 野 則 美 (松江市)	
⑪	夏休み	立 花 伸 一 (雲南市)	優秀賞
	深秋	武 田 清 (雲南市)	特選
	白鷺	遠 藤 修 一 (松江市)	
	松江市鹿島町御津ニテ	松 岡 直 光 (松江市)	
	腕自慢	伊 藤 以都子 (松江市)	
	霧間の鳥	曾 田 敦 子 (松江市)	
	未来へ	高 橋 真知子 (松江市)	
	さえちゃんとゆうなちゃんの休日	福 井 眞佐子 (松江市)	
	雄叫び	若 槻 愛二郎 (雲南市)	
	移ろい	周 藤 茂 男 (出雲市)	
⑫	別れ	橘 重 孝 (大田市)	
	楽しい祭り	早 川 泰 子 (出雲市)	
	ハット トリック	原 正 治 (松江市)	
	阿波の女	黒 川 恵美子 (松江市)	
	まほろば	品 川 清 一 (出雲市)	特選
	春を訪ねて	石 倉 好 美 (松江市)	
	Brave osprey	和 田 勝 臣 (出雲市)	
⑬	初夏	天 津 義 久 (大田市)	奨励賞
⑭	収穫の日	上 坂 二三男 (川本町)	
⑮	仲良し	後 藤 孝 司 (出雲市)	奨励賞
	沐浴	田 坂 将 (出雲市)	
⑯	しまねっこ見つけたよ	堀 江 利 加 (浜田市)	特選
⑰	一滴迄も	佐々木 清 幸 (浜田市)	
	霧のひかわ野	福 島 一 夫 (出雲市)	特選
	夕日の中の風車	北 川 洋 子 (安来市)	
	青春	権 田 宏 (松江市)	
	秋空	森 脇 勇 吉 (安来市)	

青春	内田孝子 (松江市)	
隠岐の海	石倉貞昭 (松江市)	
祭日	安田朝行 (松江市)	
風雪のオブジェ	信藤一郎 (飯南町)	
街角	川本道子 (松江市)	
祝賀飛行	武田節朗 (松江市)	
⑩ 寒行	宮崎文恵 (松江市)	奨励賞
祭りの日	土井富雄 (松江市)	
視線	原浩二 (松江市)	
猫	多々納巖 (松江市)	
投網	岸本正信 (松江市)	
それぞれの夕焼け	経種聡 (雲南市)	
寸光	川上政光 (出雲市)	
⑩ 水面	田中利生 (江津市)	
家路	藤井千富 (出雲市)	特選
日の出の漁労	山内征之 (松江市)	
戯れ	島本睦男 (松江市)	
⑩ ベー。	森岡修 (江津市)	
夕日の中で	芝原本修 (松江市)	
獲る	岩本克幸 (出雲市)	特選
対決	金築哲 (出雲市)	
宵まつり	八澤元昭 (松江市)	
鷺舞	管田亘城 (松江市)	
一斉砲火	山本正男 (松江市)	
美峰秀麗	岡本和久 (松江市)	特選
無心	橋由貴枝 (松江市)	
自信	中島哲 (松江市)	
晩秋のころ	岩崎昇 (安来市)	
ミサゴ	小玉光二 (出雲市)	
パワー全開	渡部あきえ (松江市)	
村祭りの日	小村泰久 (出雲市)	
⑩ 雨上がり	嘉藤誠一 (松江市)	優秀賞
⑩ 雪原に沈む	門脇玄一郎 (安来市)	奨励賞
捜し物	吉田亮三 (安来市)	
砂あそび	福田秀夫 (安来市)	
つながる想い	石原康博 (松江市)	
拝礼	遠藤勉 (安来市)	特選
夕景色	田中博義 (安来市)	
水景色	福田一壽 (安来市)	
木戸川にて	松浦誠 (安来市)	
夕風の国賀海岸	徳島義孝 (雲南市)	
時間旅行	米田直之 (安来市)	
華一輪	原喜弘 (雲南市)	

	大餅さん	田中康治 (松江市)	
	祭日	大本順子 (松江市)	
	お彼岸の朝	石倉太介 (出雲市)	特選
⑩	秋深し となりは何をする人ぞ	白岡真由美 (益田市)	
	野球少年	須谷厚子 (出雲市)	
	神舞	坂田耕男 (雲南市)	
	かわいい主演	椿正二 (出雲市)	
⑩	激走	松田桂 (大田市)	
⑩	秋彩	大畑勉 (川本町)	
	鬼気	石飛桂子 (出雲市)	
	小さな友達	山田勉 (出雲市)	
	直会	田村啓子 (松江市)	
⑩	雨乞い神事	橋本英治 (出雲市)	奨励賞
	青春	福寄富久江 (松江市)	
	溪谷に挑む	宮野輝夫 (鳥取県)	
	縁	吉田豊美 (出雲市)	
	Lim→∞	原美穂子 (安来市)	
⑩	泥水遊び	焼杉正明 (江津市)	
	やすらぎ	江角好敏 (出雲市)	
	黄昏時	山田恭敬 (出雲市)	
	秋の余韻	三加茂綾子 (出雲市)	特選
	国際交流	杉本宗明 (松江市)	
⑩	暑い日	高田雍一 (浜田市)	特選
	要塞跡の日だまり	渡辺悦男 (松江市)	
⑩	韓島夕景	坂根昭一 (大田市)	
⑩	フクロウ	福原純孝 (益田市)	
⑩	豊穡～秋色～	島川鐵雄 (益田市)	
⑩	蟲送り	大畑秀人 (益田市)	奨励賞
	溪流	小室富雄 (松江市)	
	秋晴れの日	戸屋智通 (奥出雲町)	
	焦点	木澤昭平 (奥出雲町)	
	故郷	藤原由里 (出雲市)	特選
	晩秋	糸原詩郎 (奥出雲町)	
	かえりみち	高橋ひとみ (出雲市)	
	休息 (たばこ)	勝部正 (奥出雲町)	
	冬木立	荒木義人 (奥出雲町)	
⑩	放牧	和泉一朗 (奥出雲町)	奨励賞
	サイクリスト	内田定廣 (奥出雲町)	
	大栈橋にて	楯ヶ瀬進 (雲南市)	
	移流霧	糸原輝幸 (奥出雲町)	特選
	静かな日	高尾啓子 (松江市)	
	ほたる	山根猛 (奥出雲町)	
	ほのかな恋情	真綿隆行 (奥出雲町)	

	サルビアの咲く丘で	小林 修 (奥出雲町)	
⑨	幻織の舞台大山	渡部 悟 (奥出雲町)	奨励賞
	フィナーレ	安部 勲 (奥出雲町)	
	ゴージャス	加藤 哲夫 (奥出雲町)	
	波しぶきを照らす朝日	田中 修 (隠岐の島町)	
	海からの夕日	神門 勉 (出雲市)	
	湖畔の情景	管 敏 朗 (出雲市)	
	鵜の語り合い	川津 慶 治 (松江市)	
	くもの巣朝霧水玉光	岩城 篤 明 (松江市)	
	古蹟巡礼	高木 幹 雄 (松江市)	
	たそがれ	磯田 律 子 (松江市)	
⑨	妙演	赤坂 俊 一 (安来市)	奨励賞
	タッチアウト	高橋 幸 夫 (松江市)	特選
	シルエット	星野 純 子 (松江市)	
	モリアオガエルの産卵	山崎 昭 三 (飯南町)	
⑨	夏の夕日	藤原 博文 (松江市)	奨励賞
	静かな時	太田 淳 子 (松江市)	
	秋色	岡 一 夫 (松江市)	
	遠い夏の思い出	武田 克 弘 (雲南市)	
	日本の秋	芦野 博 子 (松江市)	
	異国の秋	吉田 智 恵 (松江市)	
	音ひとつ無し	藤江 真知子 (出雲市)	
⑨	語らい	岡本 和 幸 (浜田市)	
	田舎の春	森脇 久 雄 (松江市)	
	一人っ子	久谷 サチ子 (松江市)	
	だるまみくじ	小玉 裕実子 (出雲市)	
	秋の日	吉田 和 正 (松江市)	
	此岸と彼岸	加田 弘 道 (松江市)	
	夜明けの騒めき	岡 寛 志 (出雲市)	
	夜明けの刻	宮川 克 吉 (松江市)	特選
	里の秋	長島 聡 (松江市)	特選
	霧行く白根山	堀 幸 枝 (松江市)	特選
⑨	青春を撮る	岩田 毅 (大田市)	
⑨	またな	森山 典 雄 (大田市)	
	北の旅	友塚 由美子 (松江市)	
	裏町	吉岡 千代子 (松江市)	
	旧家の印象	石飛 克 己 (雲南市)	
⑨	平和の祈り	山崎 三 仁 (大田市)	
	秋 凛々	伊東 久 男 (松江市)	
⑨	神迎え	坂本 新 次 (出雲市)	優秀賞
	稲佐	石飛 生 子 (雲南市)	

# 招待

④ 好奇心	根 宜 康 広 (大田市)
家族	内 藤 嘉 之 (松江市)
朝日を浴びて	仲 佐 勝 己 (安来市)
傘アート	吉 田 信 幸 (隠岐の島町)
ラムネ	湯 浅 明 (出雲市)
朝もや	金 津 志未子 (松江市)
飛翔	菅 野 紘 (松江市)
海辺にて	松 本 正 (松江市)
雲のカーテン	浜 田 周 作 (松江市)
祝日	安 達 彰 (松江市)
航波	桂 川 亮 (松江市)
子供神楽	高 橋 範 行 (松江市)
夜舞い	武 部 英 子 (松江市)
祭りの子	藤 原 静 雄 (雲南市)
④ 愛犬	吉 崎 佳 慶 (益田市)
④ 水浴び	尾 崎 剛 (浜田市)
④ 帰路	竹 本 晴 男 (浜田市)
④ ハプニング	井 上 健 治 (浜田市)
弁慶まつり	新 田 俊 之 (出雲市)
④ 異界	佐々木 聡 (出雲市)
④ 雨の日	川 本 貢 功 (松江市)
神事	出 川 正 廣 (松江市)
④ 群れ	小 林 茂 雄 (江津市)
フェース	森 山 徹 (松江市)
眼下の光彩	田 村 唯 男 (松江市)
10月8日19時51分	大 成 清 美 (松江市)
潮騒の詩	森 山 豊 治 (出雲市)
べた踏み坂 朝景	行 長 好 友 (出雲市)
闇に舞う	三 次 功 侑 (出雲市)
仁王雲	西 澤 由 英 (仁多郡)
爽秋	佐 野 弘 義 (出雲市)
孫達の未体験ゾーン	土 江 真 弘 (出雲市)
濤	渡 部 久 由 (仁多郡)
ポスト	田 中 利 博 (仁多郡)
だれだったかしら	景 山 利 治 (雲南市)
弁慶帰山す	荒 木 諭 吉 (出雲市)
隠岐海峡夕陽無限	前 田 健 (隠岐の島町)
④ Ice craftsman	品 川 功 (大田市)
初秋	宇田川 好 美 (仁多郡)
陰影競争	渡 辺 正 史 (松江市)
里の秋	岡 敏 文 (松江市)

朝日を浴びて	酒 井 重 礼 (松江市)
湖面寸景	足 立 修 吉 (松江市)
茶屋町	本 木 儀 和 (松江市)
明ける中海	宮 廻 功 (松江市)
⑧ サーファー	松 谷 敏 秀 (浜田市)
佇む	森 脇 寿 一 (松江市)
陽暮れて	宮 廻 親 基 (松江市)

# デザイン

応募点数	45点	招待作品	22点
入賞点数	7点	展示点数	65点
入選点数	36点	◎は移動展出品作品	

(総評)

11月8日午後10時12分、ほろ酔い気分で松江駅前のホテルに帰り、明日の県展のデザイン審査のことを考える。浅酌とは言えこのような時に考えると不謹慎きわまりないと反省しながら、さて、明日の審査をどうする？と、酔っぱらいの我が身に問いかけた。島根県には過去一度しか来たことがなく、島根のことは何も知らないにもかかわらず、安易に県展の審査員を引き受けた。バチがあたったかな。神の国島根で神から私の審美眼が試されるということか、と覚悟した。

審査当日雨、叱咤の雨か激励の雨か。小雨に曇る宍道湖畔の審査会場で作品を目の前にして思った。う～ん！神の礼節にしたがおう。島根の作品に対し、まず「尊敬の門」から入り接しようとした。作品が何を語りかけ、私に何を教えようとしているか。敬意をもって無心に作品の声を聞くことから始めた。「島根のことやあなた（作品）のことを教えてください」

わかりやすさは良いデザインの一つの魅力だが、「わかる」ということは頭脳や理屈で理解するだけではない。かならずどの作品も何かを語りかけてくる。声が聞こえないのは作品の身の丈で接していない証拠だと反省する。神の声なんだから……。

審査の対象になった作品群は、たいへんバラエティーに富み、独創的で作者の強い念いがにじみ出ているものであった。一般的に地域資源の発信をテーマにするテーマ部門には、郷土に誇りをもった作品が多くなる。しかし自由部門の作品にも作者のあたたかな愛情に生まれ、表現対象を丁寧に観察して作られた骨太の作品が多いことが印象に残った。デザインは暮らしそのもの。暮らしの観察をしながら暮らしを楽しんでいる作者たちの姿が思い浮かぶ。作品は作者の鏡。作者も知らない深層の姿を見せてもらった気がする。

入選した作品の質は高く、これらの作品は、品格、個性、技術、感性、理解、印象、色彩、構成、発想、調和、機微、知性、社会、正義、疑問、新鮮、信頼、自然、衝撃、理性、風情、時代、愛情、風刺、ユーモアなど、デザインに必要な多面的な要素をうまくとりいれ表現した作品群である。本展で観賞の折には、どの作品が上記の要素を強く表現しているか、探していただくのも観賞の一つの愉しみになるかもしれない。

(文責 白木 彰／愛知県立芸術大学教授)

知事賞 ◎

## ちゅうもん おお りょうり てん 注文の多い料理店

おか ざき か ほ  
岡崎花歩 (出雲市)

モノトーンを上手に生かし、実に清楚で、品のある作品である。

主題に対して素直な取り組みから、デザイン的に工夫された、おもしろい文字や画面全体の構成の妙が生れた感がある。

アイデア・色彩・レイアウト 共に揃った完成度の高い秀作である。

(文責 寺尾 堂)

金 賞 ⑧

ふくらむ

原 田 聖 子 (松江市)

インダストリアルデザイナー Jonathan Ive氏の言葉に「フォーカスグループはやりません。

現在の文脈から将来どうなるかを感じ取るのは、デザイナーの仕事です。……」があります。

グラフィックデザインに置き換える事ができます。

見えてこないオリジナルなイメージを、こうでなければならぬと思える形状、色彩、質感等で表すには、デザイナーとしての考え方が必要でしょう。

オリジナルなものほど難しいのは、参考にできるものがないからです。

原田さんのCG作品は、オリジナリティーに溢れた表現で、魅力的な作品と評価されました。

来年も優れた作品を見せて頂きたいと思います。金賞受賞おめでとうございます。

(文責 狩野 順)

銀 賞 ⑧

ふるさと  
故郷

増 原 公 夫 (出雲市)

棚田の美しさや見上げた大空の開放感で、日常のストレスや緊張感から、都会より訪れた旅人を開放する風景写真。この風景写真には母を思い出すような懐かしさが漂っている。都会で暮らす者からすると忘れかけた風景。

本作は一見すると写真の作品のようだが、白抜きの小さい文字を効果的に画面に配置することで、見るものに郷愁を感じさせる作品に仕上がっている。

デザインという仕事の中であって、写真が本来もっている表現としての素晴らしさを、改めて認識させられた作品である。

(文責 春日 謙一)

銀 賞 ⑧

不思議の國しまね

漆 谷 優 里 (奥出雲町)

鳥根県の魚「県魚」に指定されている飛魚のアウトラインの中に文字を入れて構成してある。色彩も青系でまとめてあり、白い空間も生きているし、全体的にバランスが良い。

しかし、センターの「空泳ぐ魚の如く」のコピーは、無い方が良い。ともすれば、文字を入れたために、折角のデザインが台無しになる事すらある。ポスターなのか？ 広告なのか？ 明確に作らないといけないし、見る人に伝わらなくてはいけない。

でも、綺麗に仕上げているのが良い。作者の考えで飛魚のアウトラインが豊さを出すためにデフォルメしてあるかとも思える感もあるが、秀作である。

(文責 平江 透)



銅賞 ⑧

えいぞく がんぼう  
永続への願望

たか はし まさ かず  
高橋成和 (松江市)

永遠に続く円周率の数字を、黒字にカラフルな色と形のグラデーションで、永遠に続いていくかのように表現されている。それを螺旋状に並べることで、どこまでも続いていくように思わせている。

数字や文字を、既成の活字ではなく、あえて手作りで表現しているところに、作者のオリジナリティを感じる。また、素材から、何から何まで自分で選び、立体的に表現しているこだわりを感じる。

自分でデザインし、自分の手で楽しみながら作りあげることが、「ものづくり」の基本であり、作品のもつ暖かさにつながっていると思われる。(文責 奥美奈子)

銅賞 ⑧

しまね かんこう  
島根観光PRポスター

ひの きの きち こ  
樋野幸子 (出雲市)

島根の町多古、海と山と人の町、多古を取材して美しい緑の山すそにひろがる海辺の町の風景写真を上部に配置、画面の下部には自ら取材、撮影した魚籠を控えめな色調で配置するというよく考えられた表現が良い。手書き文字による方言、「しまねまいもん」と地域表示図の構成が良い。

『目標や条件などのきっかけがないと発想もできず制作は進まない。0からものごとは生れないのである。質の高い制作には、ものごとを産む必然性がさらに必要になる。』

「デザイン屋の散歩道」白木 彰著 136頁より

観光ポスターに要求されるわかりやすさと美しい表現をうたいあげた、構成力豊かな、素晴らしい作品である。(文責 石野 眞)

銅賞 ⑧

みづ  
水でつながるまち

おお つか  
大塚ともみ (松江市)

松江の名所、伝統行事、日常の風景、そして天候までもが水のしずくで繋がられている。地元の人びとにとっても松江の特徴を示す馴染みのあるものばかりではあるが、作者が一度自分のものとして消化し、再構築することによって、モダンな表現となっている。

ブルーを基調とする美しい色彩は、独創性があり、山陰の特徴でもあるどんよりとした空模様が、グレーの雲として水のしずくの上に重ねられ、新鮮さを増している。

コピーによって「繋がり」を大切にする松江の人々の温かさを表現しており、都会的な美しい観光ポスターに仕上がっている。(文責 内田 京子)

## 入 選

②	輝き	水 口 弘 幸 (益田市)	島根デザイン連盟奨励賞
	サピルナ	小 玉 榮 (益田市)	
	挑戦	松 島 基 輝 (出雲市)	
	真実	藤 原 由 里 (出雲市)	
	内なる冥き焔	岡 実智子 (出雲市)	
	君に憧れて	多々納 知 佳 (出雲市)	
	かたち、素材感、意味の関係	金 山 睦 美 (松江市)	
③	きっちん、キッチン。	渡 邊 萌 (松江市)	県外審査員特別賞
	知らないままで	佐 藤 由 梨 (奥出雲町)	島根デザイン連盟奨励賞
	パレード	増 原 玲 子 (出雲市)	
	記憶の断片小説	星 野 杏 理 (出雲市)	
	カミノチカラ・4	糸 原 加奈子 (雲南市)	
	貴方はどんな言葉を贈りますか?	吉 岡 さつき (安来市)	
	拍車	福 島 亮 太 (安来市)	
	人生は長いようで短い	近 藤 かおり (出雲市)	
	好きな席へどうぞ	岩 成 浩 行 (松江市)	島根デザイン連盟奨励賞
	お話しようよ	近 藤 顕 (安来市)	
	one day	細 田 果 那 (出雲市)	
	純真ノ雨	意 東 夏 樹 (鳥取県)	
	音	平 井 花 奈 (出雲市)	
	夢への軌跡	大 塚 翼 (出雲市)	
	刺激	山 本 琳 夏 (松江市)	
	涙	末 葭 由 衣 (鳥取県)	
	窓	石 田 真実子 (出雲市)	島根デザイン連盟奨励賞
	島根を駆ける	木 澤 昭 平 (奥出雲町)	
	ここにしかない景色	川 島 垂 実 (松江市)	
	イザナギ	下 山 嘉 真 (松江市)	
	創造するけん島根県	笹 木 世梨奈 (奥出雲町)	
	やらこい・しまね	青 戸 千 尋 (奥出雲町)	島根デザイン連盟奨励賞
	夢	大 森 一 史 (奥出雲町)	
	縁結び	来 島 杏 美 (松江市)	
	和の島根	有 田 圭 宏 (鳥取県)	
	巡り	西 尾 大 智 (出雲市)	
	閃光	星 野 泰 範 (出雲市)	
④	出雲星座	寺 本 怜 央 (松江市)	県外審査員特別賞
	しじみ汁	恩 田 な み (雲南市)	

## 招待

	おとのかたち	石野 眞 (松江市)
②	GAHAN2014-11 〈TAXI〉	寺尾 堂 (益田市)
	キリギリスの思惑	奥原 直夫 (松江市)
②	PEACE	寺戸 良信 (松江市)
	イラストレーション	遠藤 毅 (雲南市)
②	PARFUM NIGHT・II	小原 恭子 (松江市)
	Life between life	内田 京子 (奥出雲町)
	銀河鉄道の夜	奥 美奈子 (大田市)
	地面効果翼機 MA-0 7th	春日 謙一 (松江市)
	2014-C	狩野 順 (松江市)
	なつかしい街を歩く	近藤 隆 (安来市)
	Recollections of Summer	錦織 秀行 (松江市)
	ログT-1 LAFCADIOはあ〜ん!?	平江 透 (松江市)
	ログT-2 セキノゴホン松	平江 透 (松江市)
	忘れがたき故郷 (野緑江から引揚者が故郷へ)	増田 竹男 (松江市)
	いのちの境界	秋國 紋子 (出雲市)
	れもん色	稲田 通子 (安来市)
	想	加納 江里子 (安来市)
	HIBIKI	品川 良樹 (松江市)
②	primitive	柳 楽武臣 (出雲市)
	Cloud	原 真人 (雲南市)
	調和した町	山川 房子 (安来市)

# 彫刻

応募点数	18点	招待作品	9点
入賞点数	6点	展示点数	26点
入選点数	11点	◎は移動展出品作品	

(総評)

今年は例年に比べて、若い方や女性の出品が増えて26点の展示となりました。

出品者の抱いたテーマは、とてもバラエティに富んだものになりました。人生に感じる事、社会事象に感じる事、生活のひとこまにふと感じること等をはじめ、宗教心に基づく仏像表現、民俗の表現など、幅広くそれぞれの作者の精神世界が披瀝されているように思います。

また、造形のための素材は、木材、石材、石膏、石粉材、粘土等いろいろありますが、今年は粘土を素材にしたテラコッタの作品が多く出品されました。

審査は、発想の独自性、技術の練度、彫刻的構成、単純化や象徴化、意図の明確さ、動きなどに目を向けて行いました。

なお、今年も、県の「次世代育成事業」の島根彫刻会共催講習会の中高生の作品から選抜したものを、同一会場内に展示させていただいたことを申し添えておきます。

(文責 山岡 弘迪)

金賞 ◎

## KONJO

近田裕喜 (安来市)

岩石をつかむ樹根の力強さに接し、その感動を硬質の石材で表現しようとした作品です。つかむ岩を球形にすることで、樹根の力強さをいっそう象徴的にしようと意図しています。

石彫への斬新な試みが表わされた秀作です。

(文責 山岡 弘迪)

銀賞 ◎

## 金銀銅未来へ繋ぐ十代

岩崎光彦 (安来市)

東京オリンピックへの、高揚感と期待をテーマにした作品です。

安来産の荒島石は硬軟の変化の多い厳しい石ですが、この作品は重量感や安定感がよく表されています。作品中の三人の人物の表情には、石彫の喜びや苦心のあとがよく伺える秀作です。

(文責 山岡 弘迪)

銀賞 ◎

## たばこさや

田村さつき (広島県)

郷里の老夫婦がお茶を飲んでいた様子を思い出して作られたもののようです。題名は出雲弁で、「休憩をしましょう」という意味です。

体の全体や腕の形の単純化を試みているところや、テラコッタの柔らかな質感を生かして、なごやかな雰囲気の追求をしている秀作です。 (文責 山岡 弘廸)

銅 賞 ④ **聖観世音菩薩立像** しょうかんぜおんぼさつりゅうざう 川本栄治 (松江市) かわもとえいじ

蓮華を持つ手の優しさ、光背の唐草模様の曲線にも神経を注ぎ、丹念に楠材を彫刻してある作品です。

技法と相まって、仏の慈悲の心が豊かに表現された秀作です。

(文責 山岡 弘廸)

銅 賞 ④ **悶** もん 周藤豊治 (松江市) すとうとよはる

戦争や震災の酷さなど、将来への不安を立体で表現しようとした作品です。

主題を一つの塊まりとして表現しようとする作品への追求を、今後とも続けてもらいたいものです。 (文責 山岡 弘廸)

銅 賞 ④ **Family** 尾添昇 (出雲市) おそえのぼる

白くふくよかな、ボリュームの美しさを感じさせる作品です。母の懷に抱かれた、家族のあたたかさが伝わってきます。 (文責 山岡 弘廸)

入 選

	聖観音菩薩	鶴原伸志 (松江市)	島根彫刻会賞
	M嬢	原宏臣 (出雲市)	
④	鬼・天上をしる	鈴木祐司 (益田市)	
	布袋さん	日下悦郎 (出雲市)	
④	好機	佐々木柳子 (江津市)	
④	森の祈り	知念八重子 (邑南町)	
④	夏の陽	石田富士 (江津市)	
	ふくろう	南波隆之 (松江市)	
	おけいこ	稲村守泰 (松江市)	
	ここで君を待つ	神山千晶 (大田市)	
	まどろむ	福田美都子 (出雲市)	

## 招待

	遊ぶ	荒木文夫(松江市)
	a cloud	山岡弘旭(出雲市)
②	まんまん、あん!	落合誠(江津市)
	傘寿	井上博(松江市)
	大地	佐藤信光(安来市)
	昼休み	伊藤眞美(出雲市)
②	馬耳東風	田中俊暁(江津市)
②	TOU	松本健志(出雲市)
	行道10段三番叟	中尾芳雄(出雲市)